

平成28年3月4日

民生常任委員会会議録

塩竈市議会事務局

塩竈市議会民生常任委員会会議録

平成28年3月4日（金曜日）午前10時開会

出席委員（6名）

委員長	浅野敏江君		
副委員長	土見大介君		
委員	西村勝男君	阿部かほる君	
	菊地進君	小高洋君	

出席議長団（2名）

議長	香取嗣雄君
副議長	伊藤博章君

欠席委員（なし）

説明のために出席した職員

健康福祉部長	桜井史裕君	健康福祉部次長 兼社会福祉事務所長 兼生活福祉課長	郷古正夫君
市立病院事務部長 兼医事課長	伊藤喜和君	健康福祉部 長寿社会課長	遠藤仁君
健康福祉部 保険年金課長	志野英朗君		

事務局出席職員氏名

事務局長	安藤英治君	事務局主幹	佐藤志津子君
議事調査係長	鈴木忠一君	議事調査係主事	片山太郎君

会議に付した事件

議題 請願第 1号 東日本大震災被災者の医療費一部負担金免除及び介護保険利用者

負担の減免を被災市町村の負担によらず平成28年度継続するための財政措置を求める請願

午前10時00分 開会

○浅野委員長 おはようございます。

ただいまから民生常任委員会を開会いたします。

傍聴者の方に申し上げます。携帯電話等をお持ちの方は電源を切るようお願い申し上げます。また、撮影及び録音については許可いたしませんのでご協力願います。

本日の審査の議題は、閉会中の継続審査となっております、請願第1号「東日本大震災被災者の医療費一部負担金免除及び介護保険利用者負担の減免を被災市町村の負担によらず平成28年度継続するための財政措置を求める請願」の1件であります。

これより議事に入ります。

請願第1号「東日本大震災被災者の医療費一部負担金免除及び介護保険利用者負担の減免を被災市町村の負担によらず平成28年度継続するための財政措置を求める請願」を議題といたします。

これより質疑を行います。委員各位のご発言をお願いいたします。小高委員。

○小高委員 ありがとうございます。

それで、今回の審議を行うに当たりまして前回の審議とは大分時間もたっておりますし、さまざま状況として変わってきた部分もあるかと思えます。そういった中で本日新聞のコピーという形で持ってきたんですが、16日のところで塩竈市、本市においてもその東日本大震災で被災した国保加入者の方の医療費の窓口負担免除措置2016年度継続ということで発表があったわけであります。それで、ちょっと数字の部分で1つ当局に確認をしたいことがあったんですがよろしいでしょうか。

報道におきましては対象者1,291人、市の負担額3,880万円というふうに報道で私も見たわけでありまして、現時点におきまして国のほうで8割これまでであった制度の中で補填をされる中で、残り2割分の負担ということになってくるのかなと思っておりますが、そこで市の持ち出しというのが大体具体的なところでお幾らになるのか、まず初めにそこを確認させていただきたいと思えます。

○浅野委員長 志野保険年金課長。

○志野健康福祉部保険年金課長 今お話がありました、国民健康保険についてということと解釈しておりますが、塩竈市の持ち分負担額はどうかということですが、平成28年度の予算ということでよろしいでしょうか。はい。そうしますと、まず総額としては1億5,800万円、

国民健康保険についてはかかると想定しております。そのうち一般被保険者、退職被保険者で分かれるんですが、おおよその話として言いますと大体8割の2割と、これが一般被保険者。退職分は全部塩竈市が持ち出しということになりますが、金額としては塩竈市の負担額は合計しますと、3,880万円が塩竈市負担額ということになります。残りの1億1,920万円、こちらにつきましては国のほうで負担していただけるという内容になっています。よろしく願いいたします。

○浅野委員長 小高委員。

○小高委員 ありがとうございます。

新聞報道のとおり、およそ4,000万円。3,880万円というところで市の持ち出しが発生するという状況の中で今回の審議ということになるわけでありまして、やはりこれまでさまざま例えば予算委員会等で審議、質疑行われてまいりましたが、やはり統一した私どもの思いといたしましても、復興まだ道半ばだという中におきまして、市としてそれでも市民の皆様のお声にお応えをいただいて、こういった大きなご決断をいただいた中でその決断というところで、やはり国あるいは県というところでぜひとも支援をしていただきたいという趣旨でございますので、ぜひとも皆様のご賛同をいただきたいと、私からまず初めにそれを発言をさせていただきます。よろしく申し上げます。

○浅野委員長 ほかにご発言はございませんか。菊地委員。

○菊地委員 今、小高委員もお話ししていたんですが、私は逆に議会開催中、下のところである市民の方に出会ったら、国保また減免になるんで嬉しくて来たんだよという声を聞きました。ああ、本当によかったなという思いです。しかしながら、その方がうなだれていましたのは、後期高齢のほうになったので、それが外された。それで1割負担になったんだわってなったんですが、昨年までは無料だったんですが、今回例えば後期の方は前回含まれていた金額はどのくらいだったのでしょうか。

○浅野委員長 志野保険年金課長。

○志野健康福祉部保険年金課長 後期の方々ですが、これは後期の一部負担金、免除に係る額ということで、「前回」の声あり）前回ですね。（「ごめんなさい、昨年」の声あり）昨年ですと後期のほうは暦年で1月から12月という換算でしておりまして、今お話のありました内容につきまして後期から連絡を受けていたのは4月から12月分までということになります。この金額につきましては塩竈市単体としての負担額ということでよろしいですか。（「はい」の声

あり)こちらが1,111万7,000円ということになります。これが4月診療分からになりますので、4月診療から12月診療分まで8カ月ということになりますので、この額が8カ月分ですからこれに8分の12をかければ年間額になるのかなというふうには捉えております。よろしく願いいたします。

○浅野委員長 菊地委員。

○菊地委員 市民の方、また新聞報道にも塩竈市の復興はまだ40%というような数字が出されていたと思います。市民の方は、対象者が今回1,291名くらいなんですけど、本当にそういった方々のためにもやはりもっと安心させていただくためにもっと決断をしていただければなと思っていました。桜井部長のところなんかにも行って私、桜井部長がやれば桜井部長の成果として上がるんだよとそういうことまで私言ってきたと思うんですけども、やはり予算がどうのこうのというよりも市民を思う心を皆さんお持ちだと思んですけど、これからもやはりそういった視線に立たれまして、していただきたい。とはいえ、塩竈市の財政規模からいうと国や県の補助がいただかなければなかなかし得ない事業というのも承知しているわけなんですけど、我々議会はそういった意味で国のほうにちゃんと出してくださいよと、県のほうにも出してくださいよというそういう仕事をする役割が、やはり議員の役割ではないかなと思うんです。議員はそういう市民の声を届ける、そして行政は市民の声を受けて企画立案して、あと国、県のほうにもやはりしていると思うので、そういった議会と行政と市民が一体となった施策を今後とも続けていただくよう私からお願いしたいと思います。そんな意味で、住民のためにとにかくみんなで頑張りましょうということをお願いしたいと思います。

○浅野委員長 ほかにご発言はございませんか。阿部委員。

○阿部委員 昨年から継続審議になっておりました。というのは、私たちとしては一方国の様子が、平成28年度の予算関係いろいろわからないものですから、やはりちょっと時間をおいてということで私たちも時間をいただいておりました。実際に8割方国が見てくださると、あと2割ということですけども、本当に塩竈市も厳しい状況の中ですけども、何とか国や県が応えていただければ被災者の方たちに手を差し伸べることができるかなと今思っております。

本当にまだまだ仮設住宅にいらっしゃる方、公営住宅に入るのはもう少し時間が必要であります。あと1年たてば相当な見通しが立つのではないかと思いますけれども、まだまだ十分ではないというところで、今回は一緒に頑張ってお願いをしてみましようということでも会派で話し合いました。どうぞよろしく願いいたします。

○浅野委員長 ほかにご発言はありませんか。菊地委員。

○菊地委員 今、阿部委員さんのほうで言われたんですが、国の様子がわからない、わからないからこそこういう請願を出して道筋をお願いしますよというのが我々議会の役割でないかなと思うんです。国がわからないからずっとそれまでしているというのは……では国が動くまで我々国民はじっとしていればいいのかと、そうはいかないと思うんです。やはり住民の声を届けるのはやはり議会を通して順番で行くから、国の動向がわからないから国の動向を見るんだと、それはないと思う。やはり国をみんなで地方から動かすというのがやはり我々地方議員の役割でもあるし、国民の1人の使命ではないかなと思っているんです。今朝のテレビなんかでも保育所の入所関係で誰が日本死ねとかなんとかってというのは、それは物すごい言葉だと思うんですが、保育所に入れなくて仕事もできないという、そういう悲痛の声を届けてそれも排除されるようなのではだめだし、やはりずっと待機児童がゼロになるまで待ってろって、そうではなく、やはりそういう声を上げていくというのが我々の使命ではないかなと思いますので、やはりどこに視点を置いてするのかとというのが、私は一番重要ではないかなと思います。国にこういう請願を出して、我々が不利益があるんだったら反対したりなんなりすればいいんだけど、皆さん住民のためにやるといってるんだからやはり国を動かすような、そして一刻も早く被災された方が安心できるような施策をやはり行政にしてもらうように働きかけるのが、我々の役割ではないかなと私は余計なことですがそう感じましたので。今ちょっと国の様子をうかがいながらなんて言うと、うかがう以前の問題でないかなとと思いましたので、余計なことかもしれませんが、うかがってずっとするんだったら何もしないで、ねえ、ほうがいいのかと。そうではないと私は思いますので、住民のためを思うんだったらよかれとあればやはり行動すべきじゃないかなと、私は思いますのでよろしくをお願いします。

○浅野委員長 西村委員。

○西村委員 前回、私ども継続ということでお話しさせていただきました。社会保障事業費が年間1兆円ずつ伸びている中で、果たして本当に困っている方々に対してやりたいということは十分にわかります。ただ、いまだ医療費の削減のためにジェネリック薬品を使ってほしいとか、いろいろな形でいろいろ削減に向けて進んでまいりました。どうしても私も被災者の1人でありまして病院には行けると、無償だということで仕事の合間に行かさせていただいた経緯もありますし、お年寄りの中で頻回受診、1つの病気で2カ所、3カ所回られる方もいらっしゃいますし、あと病院の中では過剰診療、投薬も含めて。やはり無償だと、それも必要な病気に対

するケアの部分は必ず必要な部分だと思いますが、その辺も含めてきちんと精査していただいて、レセプトの電子化が始まりまして、その方の病状にあった投薬なり治療なりをきちんと精査していただいて、本当に困っている方々に対してはきちんと国の支援なり必要な支援をしていくのがベストだと思います。その部分がある程度精査しながらやっていければなど。今回も国のほうで8割ということで市のほうでは3,880万円という予算化をされているようですが、これはこれによって助かる方、私も北浜に住んでいまして、ある方々から4月以降どうすっぺや、今まで週に何回も皮膚の病気だったもんですから治療にずいぶん時間がかかっていたものですから困っていますという話で、ああじゃあその辺も含めて何か決まりましたらすぐご報告申し上げますということでお話しさせていただきましたけれども。今回、前回と違っていて国もという報告も出ましたので、請願については前向きに考えるべきだということで今考えております。以上です。

○浅野委員長 ほかにご発言はございませんか。士見委員、よろしいですか。

○士見委員 私も前は継続という形で意見を出させていただいたんですけども、私の大きな理由としては請願を出していただいたときに、私の不勉強というのものもあるんですけども、なかなかその実際困っていらっしゃるという方がいることをベースにお話をいただいたんですけども、その状況というのを実際に詳しくつかみ切れていなかったというところがあって、アンケートをとればもちろんそれは困っている方が出てくるんですけども、その裏というのはどういうところがあるんだろうというところをちょっと精査させてほしいということで継続をさせていただいた次第です。

その後私個人としても少し仮設に行ったり、自分で動かしていただいたり、あとは先ほどオール塩竈の会の皆さんの話もありましたけれども、国のほうとしてもちゃんとやっていくという話もありましたので、今回としては前向きに進めていきたいと考えております。以上です。

○浅野委員長 ほかにご発言はありませんか。ないようですので、暫時休憩いたします。

午前10時15分 休憩

午前10時16分 再開

○浅野委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

ほかにご発言はありませんか。（「なし」の声あり）

なければ質疑はこれにて終了いたします。

続いて討論を行います。（「なし」の声あり）

討論の通告がありませんので、討論を終結いたします。

採決いたします。

請願第1号は採択とすることに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○浅野委員長 挙手全員であります。よって、請願第1号は、採択とすることに決定いたしました。

暫時休憩いたします。

午前10時17分 休憩

午前10時25分 再開

○浅野委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

以上をもって本委員会を終了いたします。

大変ご苦労さまでした。

午前10時26分 閉会

塩竈市議会委員会条例第29条第1項の規定によりここに署名する。

民生常任委員会委員長 浅野 敏 江